

### H30 年度 学校教育自己診断の結果と分析

内 容	生徒	保護者	教員
学校への満足度(学校は楽しい、通わせてよかった。)	75.6%	86.6%	65.4%
授業への評価(わかりやすい、学力がのびされている)	72.8%	76.5%	69.2%
進路指導に対する評価	86.3%	75.5%	80.7%
生徒指導に対する評価	95.9%	96.1%	76.9%
学校行事、部活動に対する評価	82.1%	82.3%	73.1%
学習環境が整っている。	70.0%	82.0%	69.2%

#### 【分析】

- ・「学校へ行くのが楽しい」「授業がわかりやすい」が昨年度より 3 ポイント上昇しているが生徒の主体的な取り組みの観点を考えるとき、「わかりやすい」の評価基準だけが果たしてふさわしいのか疑問である。今後評価基準も含めて、生徒の主体的・対話的な取り組みを進めるような授業改善に取り組んでいく必要がある。
- ・「学校行事、部活動に対する評価」が昨年比で 2 ポイント下回っている。行事については生徒のニーズの変化に対応していくことが望まれる。部活動については、部活動の在り方の指針を受けて活動時間に制限を設けたことが少なからず影響しているように思われる。
- ・「学習環境が整っている」が昨年から横ばい状態であるが学年別にみると 1 年生 66.7%、2 年生 70.9%、3 年生 73.7% である。授業中の雰囲気は全学年落ち着いた雰囲気を形成しているが、設備面でトイレの改修や電子黒板等の設備を要求する声もあり、特に 1 年生においては期待して入学しているので、設備導入要望の声は強い。
- ・「挨拶をする」「遅刻をしないように心がける」「学校のルールは守る」はいずれも昨年を上回っている。年々学校全体の規範意識は高まっている。